

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
BALLET 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	Hink/谷古字千尋/ 山端茉奈美/ウェザフォード美輝			実務 経験	有	職種	バレエダンサー				
担当教員紹介											
【山端茉奈美】School Of Alberta Balletに留学。在学中同バレエ団の公演に出演。pre-professional courseを修了。帰国後、谷桃子バレエ団に入団。白鳥の湖より四羽の白鳥、くるみ割り人形より花のワルツソリスト等、様々なレパトリーを踊る。NHKバレエの饗宴、日本バレエ協会公演等にも出演。退団後、ロシア国立ペルミバレエ教授法課程修了。現在全学年コースに在籍。 【ウェザフォード美輝】6歳よりバレエを始め、国内のバレエコンクールで多数の賞を受賞。その後渡英しイングリッシュナショナルバレエスクールを卒業。 イングリッシュナショナルバレエ、スコティッシュバレエで踊る。帰国後、フリーのダンサーとして数多くの舞台にソリストとして参加。CMやMV、雑誌、イベントなど様々な分野で活躍中。											
授業概要											
この科目では全てのダンスの基礎となるバレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、体の使い方、音楽への理解、文化芸術を学びます。バレエにおけるストレッチ、基礎となるポジションや動きを身に付け、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置きます。その上でテクニック、コントロールを学びバレエを表現できる事を目的とします。											
到達目標											
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。											
授業方法											
この科目ではストレッチやバーを使った基礎動作や身体配置を中心に学びます。センターエクササイズおよび反復練習、正しい体の使い方筋肉の使い方を理解、修得を目指します。											
成績評価方法											
試験・課題 レポート 成果発表 平常点	30% 40% 20% 10%	試験と課題を総合的に評価する 授業内容の理解度を確認するために実施する 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	ポジションごとのバーレッスン(第二ポジション)										
第2回	ポジションごとのバーレッスン(第三ポジション)										
第3回	ポジションごとのバーレッスン(第四ポジション)										
第4回	センターでの動き ターンアウト										
第5回	センターでの動き ターンアウト～自由な動きを体得										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
BALLET 2	
第6回	センターでの動き 総合的な動きでの表現
第7回	Hink先生による基礎の連続動作を練習し、基本動作を確認する
第8回	Hink先生による基礎の連続動作を練習し、簡単な振りが踊れるようになる
第9回	Hink先生による基礎の連続動作を練習し、表現方法を研究・修得する
第10回	谷古宇先生による基礎の連続動作を練習し、基本動作を確認する
第11回	谷古宇先生による基礎の連続動作を練習し、簡単な振りが踊れるようになる
第12回	谷古宇先生による基礎の連続動作を練習し、表現方法を研究・修得する
第13回	実習班ごとに公演用の振付を習得する 前半パートの理解
第14回	実習班ごとに公演用の振付を習得する 中盤パートの理解
第15回	実習班ごとに公演用の振付を習得する 後半パートと構成の理解・確認